2025年度日系社会研修　コース概要

NO.	39
所管センター	横浜
分野	継承
研修コース名（日）	日系資料館運営改善に向けた資料の有効活用
受入人数	4
受入時期	下半期
来日日	2025年11月9日（日）
帰国日	2025年12月6日（土）
提案団体（日）	公益財団法人海外日系人協会
提案団体 ウェブサイトアドレス	https://www.jadesas.or.jp/
研修員必要資格	日系資料館もしくは日系団体の活動に1年以上関わっている者
研修員に必要な 実務経験年数	実務経験1年以上
日本語能力（選択） ※日本語能力試験認定の目安参照	N3
英語能力（選択）	不問
研修目標	研修員に、資料館運営のための知識及び資料の収集・保存、展示技術などが習得され、研修員の属する館の資料管理、資料保存が促進され、展示へ活用されることにより、魅力ある資料館活動が期待される。また、資料館業務において情報交流し、将来的に海外移住資料館との企画展示交流や共同展示を目指すことが促進される。
期待される成果 （習得する技術）	(1) 研修員に、講義や視察をとおして、資料館活動、運営に関する知識が習得される。 (2) 研修員に、資料の収集・保存、展示技術等に関する知識及び技術が習得される。 (3) 研修員に、海外移住資料館を通じた各国移住資料所蔵施設等とのネットワークが構築される。
研修計画 （内容）	1. 講義 資料館の運営及び資料収集・整理/IT技術を用いた資料館管理と展示/教材開発の経緯と活用事例等 2. 実習 資料の梱包と輸送方法/資料の展示/資料撮影の基礎/企画展示作成等 3. 見学 アメリカ村カナダミュージアム、和歌山市民図書館、和歌山県立近代美術館
本研修実施の意義 中南米日系社会への裨益効果	本研修において、講義及び日本の資料館等の視察や展示制作の実習をとおして、資料の収集や保存、展示技術に関する知識を習得することにより、資料館の運営改善に向けた活動を活性化し、かつ日系資料館相互のネットワーク強化に寄与する人材を育成することが期待される。
応募希望者への特記事項	・日本人移民関係資料を収集・保存している団体に所属していること ・日本語能力についてはN3以上が望ましいが、参加する研修員の日本語レベルに応じて通訳を傭上する予定